

民生生活必需物資の供給確保については陸海軍の多大なる協力を得て來てゐる次第であつて、本計畫の樹立及び實施によつて生活必需物資の供給に総合的なる目標が定まり戰時國民生活の安定を確保する上において極めて大なる効果を期し得ると存するのである。しかしながらいふまでもなく現在は大東亞戰爭の最中であり、この大戰爭を勝ち抜くためには國民として益々實剛健にして清新簡素なる戰時生活を營むべきであつて、この點に關し國民各位は大東亞戰爭の完遂と大東亞の建設といふ大業を翼賛し奉る國民的感激を以て自主的に物心兩面に互りその生活の戰時體制化を圖られ本計畫の目的達成に協力せられんことを望んで已まない次第である。

昭和十七年度生活必需物資綜合計畫は大東亞戰爭の長期戦たる性格に鑑み國民生活の最低限度を確保するため本年度より特に設定された國家計畫であつて、政府の國民生活安定に關する熱意を示すものとして注目されると共に物動計畫が從來の原料物動より製品物動へ進展したところに特徴を有するものである、本計畫の對象となつた國民生活必需物資は (一)食糧物資(米麥等) (二)家庭燃料物資(木炭等) (三)衣料物資(纖維品等)であつてこれ等の諸物資を物動計畫と密接な關聯の下に計畫化し特に食糧物資等重要物資については需給、配給計畫等詳細な計畫を樹立したものであるが、なかんづく味噌、醬油等については製品に至るまでの計畫を設定、製品物動としての特色を發揮するに努めこれ等物資の生産資材の確保より末端配給に至る各部分に齟齬なからしめたのである。本計畫の設定によつて生活必需物資は各省において實施してゐる物

資統制策と照應して全面的に確保され戰時下國民生活に強力な安定性を附與するが、なほ國民生活に密接な關係ある物資については今後研究の上明年度以降本計畫に包括せしめてゆく方針である。

船員法施行令中改正の件公布

船員法施行令中改正の件は昭和十七年六月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員法施行令中改正ノ件

(昭和十七年六月二十三日 勅令第五百九十四號)

船員法施行令中左ノ通改正ス

第二條ノ二 専ラ日本各港間ヲ航行スル船舶ニ於テハ十四歳以上ノ者ヲ石炭夫又ハ火夫以外ノ船員トシテ使用スルコトヲ得

第三條第二項中「ニシテ總噸數二千噸ヲ超エザルモノ」ヲ削ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔参照〕

昭和十三年三月二十日勅令第三十五號船員法施行令抄録

第三條第二項

専ラ日本各港間ヲ航行スル船舶ニシテ總噸數二千噸ヲ超エザルモノニ於テハ十六歳以上ノ者ヲ、漁船ニ於テハ十五歳以上ノ者ヲ石炭夫又ハ火夫トシテ使用スルコトヲ得

食糧管理法の一部施行期日の件公布

第七十九回帝國議會の協賛を経たる食糧管理法については第三卷第三號本欄所載の如くであるが、その一部施行期日に關する勅令は昭和十七年六月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

食糧管理法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十七年六月二十三日 勅令第五百九十二號)

食糧管理法第一條乃至第七條、第九條乃至第二十三條、第二十五條乃至第三十四條、第三十五條第三號、第三十六條、第三十八條乃至第四十三條、第四十五條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第八號及同條第二項第三項並ニ第四十六條乃至第五十七條ノ規定ハ昭和十七年七月一日ヨリ、同法第三十七條ノ規定ハ同法第三十一條、第三十二條、第三十四條及第三十五條第三號ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

食糧管理法施行令の公布

食糧管理法施行令は昭和十七年六月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

食糧管理法施行令 (昭和十七年六月二十三日 勅令第五百九十二號)

第一條 食糧管理法第二條ノ規定ニ依リ食糧ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 雜穀
- 二 穀粉
- 三 甘藷及馬鈴薯並ニ其ノ加工品タル食糧
- 四 麵類

第二條 食糧管理法第三條第二項ノ買入ノ價格ハ毎年當該年産ノ米穀ニ付四月三十日迄ニ翌年産ノ大麥稗麥及小麥ニ付十月三十一日迄ニ農林大臣之ヲ定メ告示ス

支米及支麥ニ付テノ前項ノ買入ノ價格ハ農林大臣ノ定ムル標準買入價格ヲ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ノ米麥ノ買入ノ價格ノ各總平均タラシムル計算ノ下ニ命令ノ定ムル所ニ依リ格差ニ從ヒ各銘柄及等級ノ米麥毎ニ之ヲ定ム

第二項ノ標準買入價格ハ米麥ノ生産費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタル額ニ基キ米麥ノ價格指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格及經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

前項ノ米麥ノ生産費ノ算出方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 内地産ノ米麥ニ付テノ食糧管理法第四條第二項ノ賣渡ノ價格ハ命令ノ定ムル所ニ依リ支米及支麥ニ在リテハ農林大臣ノ定ムル標準賣渡價格ト前條第二項ノ標準買入價格トノ差額ヲ同項ノ規定ニ依リ定ムル各銘柄及等級ノ米麥ノ買入ノ價格ニ加減シ運賃諸掛等ヲ參酌シテ毎年農林大臣之ヲ定メ精米及精麥ニ在リテハ支米及支麥ノ賣渡ノ價格ニ準據シテ毎年農林大臣之ヲ定ム

前項ノ標準賣渡價格ハ支米ニ付テハ家計費ヲ基礎トシテ算出シタル家計米價ニ基キ米價指數ト物價指數

トノ關係ヨリ算出シタル價格及經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定メ支麥ニ付テハ支米ノ標準賣渡價格及經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

前項ノ家計米價ノ算出方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

外地産又ハ外國産ノ米麥ニ付テノ食糧管理法第四條第二項ノ賣渡ノ價格ハ第一項ノ規定ニ依リ定ムル内地産ノ米麥ノ賣渡ノ價格ヲ參酌シテ農林大臣之ヲ定ム

農林大臣米麥ノ賣渡ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ定ムル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル標準價格ヲ以テ食糧管理法第四條第二項ノ賣渡ノ價格ト爲スコトヲ得

第四條 第二條又ハ前條ノ規定ニ依リ定ムル買入又ハ賣渡ノ價格ハ經濟事情ノ變動著シキ場合ニ於テハ前二條ノ例ニ依リ之ヲ改定スルコトヲ得

第五條 食糧管理法第七條第一項ノ規定ニ依リ主要食糧ノ貸付ハ災害事變其ノ他之ニ準ズベキ事由アル場合ニ於テ道府縣ガ市町村、産業組合、農會等ニ對シテ主要食糧ノ貸付又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ當該道府縣ニ對シテ之ヲ行フ

前項ノ貸付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

貸付又ハ交付スル場合ニ道府縣ガ當該市町村ニ對シ主要食糧ヲ交付セントスルトキ

前項ノ交付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 農林大臣ハ食糧管理法第九條ノ規定ニ基キ米麥ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米麥(同法第三條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クルモノヲ除ク)ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ販賣組合、農業倉庫業者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ賣渡シ又ハ其ノ販賣ノ委託ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第八條 農林大臣ハ食糧管理法第九條ノ規定ニ基キ米麥ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米麥ニシテ前條又ハ同法第三條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クルモノノ保管ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 農林大臣ハ食糧管理法第九條ノ規定ニ基キ販賣組合、農業倉庫業者、販賣組合聯合會、地方食糧營團其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ對シ米麥ノ買受若ハ販賣ノ委託又ハ其ノ者ガ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル米麥ノ賣渡若ハ販賣ノ委託ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 農林大臣ハ食糧管理法第九條ノ規定ニ基キ第七條、前條又ハ同法第三條第一項ノ規定ニ依リ賣渡又ハ販賣ノ委託ヲ爲スベキ場合ヲ除クノ外米麥ヲ所

有スル者ニ對シ其ノ者ノ行フ米麥ノ賣渡又ハ販賣ノ委託ニ關シ其ノ相手方ヲ制限スルコトヲ得

第十一條 精米又ハ精麥ノ設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十二條 農林大臣ハ食糧管理法第十條ノ規定ニ基キ主要食糧ノ價格、加工賃又ハ製造ノ料金ノ額ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示ニ依リテ之ヲ爲ス第一項ノ規定ニ依リ額ノ指定アリタルトキハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ主要食糧ノ價格、加工賃

又ハ製造ノ料金ノ額ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ價格、加工賃又ハ製造ノ料金ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

一 注文品ノ價格又ハ製造ノ料金ニ付生産者又ハ製造者ガ生産又ハ製造ニ著手シタルモノ

二 注文品以外ノモノノ價格ニ付買主其ノ他ノ支拂者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

三 加工賃ニ付加工者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ

第十三條 前條ノ規定ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ屬スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 第十二條ノ規定ハ左ニ掲グル價格、加工賃又ハ製造ノ料金ニハ之ヲ適用セズ

ケル輸出入取引ノ價格

二 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ

第十五條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第十二條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十六條 食糧管理法第十一條第一項ノ規定ニ依ル許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一 政府ノ命令ニ依リ米麥ヲ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入スルトキ

二 政府ガ米麥ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ委託ヲ受ケ米麥ヲ輸入若ハ移入シ又ハ輸出若ハ移出スルトキ

三 船用品タル米麥又ハ命令ヲ以テ定ムル旅客ノ携帶品タル米麥、標本米麥其ノ他之ニ準ズベキモノヲ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入スルトキ

第十七條 農林大臣ハ命令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十八條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ主要食糧ノ管理ノ實施ニ關シ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十九條 食糧管理法第四條第一項ノ規定ニ依ル指定及同法第十一條第一項ノ規定ニ依ル許可ハ農林大臣之ヲ行フ

食糧管理法第十五條第一項第三項第十六條第一項第十八條乃至第二十條、第二十一條第一項、第二十三條、第二十六條第一項、第四十六條、第四十七條

第一項第二項及第四十九條第一項中政府トアルハ農林大臣トシ同法第二十五條第二項、第二十九條ニ於テ準用スル同法第十五條第三項、第十九條第三項、第二十條、第二十一條第一項及第二十三條並ニ第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十六條、第四十七條

第一項第二項及第四十九條第一項中政府トアルハ地方長官トス

食糧管理法第十四條第一項及第三十條中政府トアルハ中央食糧營團ニ付テハ農林大臣トシ地方食糧營團ニ付テハ地方長官トス

第二十條 農地開發法施行令第二章第一節及第二章第四節ノ規定ハ食糧營團ニ付テハ準用ス但シ同令第三十三條中農林大臣トアルハ地方食糧營團ニ付テハ地方長官トス

農地開發法施行令第二章第二節ノ規定ハ中央食糧營團ニ付テハ準用ス

第二十一條 食糧營團ノ登記ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第二十二條 本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 食糧管理法第三條第二項ノ買入ノ價格及同法第四條第二項ノ賣渡ノ價格ニシテ本令施行ノ際必要ナルモノハ米穀配給統制法第四條及價格等統制令第七條ノ規定ニ基キ定メタル米麥ノ政府ノ買入及賣渡ノ價格ニ準據シテ本令施行ノ日ニ農林大臣之ヲ定ム

第三條第五項及第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準

附用ス

第二十四條 小麥粉ハ昭和十八年十月三十一日迄ハ命

令ノ定ムル所ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザ
レバ之ヲ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入スルコトヲ
得ズ但シ船用品、郵便物其ノ他命令ヲ以テ定ムルモ
ノハ此ノ限ニ在ラズ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ
許可ヲ受ケ小麥粉ノ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入
ヲ爲スコトヲ得ル者ノ範圍ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條 粟及高粱ノ輸入税ハ昭和十七年十月三十

一日迄之ヲ免除ス

第二十六條 左ニ掲グル勅令ハ之ヲ廢止ス

一 米穀統制法施行令

二 米穀自治管理法施行令

三 穀共同貯藏助成法施行令

四 政府所有米穀特別處理法施行令

五 昭和八年勅令第三百二十三號

六 昭和十三年勅令第七百八十一號

七 昭和十六年勅令第八百六十三號

第二十七條 米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ道府縣ニ

貸付シタル米穀ハ食糧管理法第七條第一項ノ規定ニ

依リ之ヲ貸付シタルモノト看做ス

第二十八條 米穀統制法第七條ノ規定ニ依リ爲シタル

輸出又ハ輸入ノ許可ハ食糧管理法第十一條第一項ノ

規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

食糧管理法第十一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之

ヲ適用セズ

第二十九條 米穀統制組合、地方米穀統制組合聯合會

及米穀商統制組合ハ米穀自治管理法廢止ノ日ニ解散

ス

前項ノ法人ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ

於テハ仍存續スルモノト看做ス

第一項ノ法人ノ清算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以
テ之ヲ定ム

第三十條 政府ノ出資ニ係ル日本米穀株式會社ノ株式

ハ米穀配給統制法第二十四條第二項ノ規定ニ拘ラズ

之ヲ政府出資特別會計ノ所屬物件ト爲スコトヲ得

第三十一條 食糧管理法第四十七條第二項ノ規定ニ依

リ解散ヲ命ズルコトヲ得ル法人ハ日本米穀株式會

社、全國製粉配給株式會社、全國米穀商業組合聯合

會、日本精麥工業組合聯合會及日本製麵工業組合聯

合會トス

農林大臣ハ前項ノ法人ニ對シ其ノ指定スル日ニ於ケ

ル財産目録、貸借對照表及株主名簿又ハ出資者名簿

ノ提出ヲ命ズルモノトス

第三十二條 食糧管理法第四十七條第二項ノ規定ニ依

リ解散ノ命令アリタル後ハ同項ノ命令ヲ受ケタル法

人(以下受命法人ト稱ス)ノ業務ヲ執行スル役員ハ農

林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ當該法人ノ常務ニ

屬セザル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十三條 設立委員ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル

書面ヲ作成シ受命法人ノ株式又ハ出資ニ對スル中央

食糧營團ノ出資ノ引當ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベ

シ

一 中央食糧營團ノ出資ヲ引當テラルベキ受命法人

ノ株式又ハ出資ノ數及拂込金額

二 第三十一條第二項ノ農林大臣ノ指定スル日ニ於

ケル受命法人ノ財産ノ概況

三 受命法人ノ株式又ハ出資ニ中央食糧營團ノ出資

ヲ引當ツル方法

四 受命法人ノ株式又ハ出資ニ中央食糧營團ノ出資

ヲ引當ツル場合ニ於テ受命法人ノ株主又ハ出資者

ニ支拂ヲ爲スベキ金額ヲ定メタルトキハ其ノ額

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ前項第三號第

四號ニ掲グル事項ヲ公告スベシ

第三十四條 前條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル

方法ニ依ル引當ニ適セザル數ノ株式又ハ出資アルト

キハ命令ノ定ムル所ニ依リ中央食糧營團ノ出資ヲ賣

却シ之ニ依リテ得タル金額ヨリ賣却ニ要シタル費用

ヲ控除シタル殘餘ノ金額ヲ受命法人ノ株主又ハ出資

者ニ對シ其ノ株式又ハ出資ノ數ニ應ジテ交付スルコ

トヲ要ス

第三十五條 受命法人ノ株式又ハ出資ニ中央食糧營團

ノ出資ヲ引當テタル場合ニ於テ從前ノ株式又ハ出資

ヲ目的トスル質權ハ引當ニ因リテ受命法人ノ株主又

ハ出資者ガ受クベキ金額又ハ出資ノ上ニ存在ス

第三十六條 中央食糧營團ノ出資申込書ハ設立委員ノ

ヲ作成シ之ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 名稱

二 目的

三 定款認可ノ年月日

四 主タル事務所ノ所在地

五 資本金額

六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

七 第三十三條第一項各號ニ掲グル事項

八 公告ノ方法

第三十七條 農地開發法施行令第三十六條第一項及第

三十七條乃至第四十三條ノ規定ハ中央食糧營團ノ設立ニテ之ヲ準用ス

第三十八條 本令ニ規定スルモノノ外中央食糧營團ノ設立及受命法人ノ解散ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 食糧管理法第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ解散ヲ命ズルコトヲ得ル法人ハ米麥、小麥粉又ハ麵類ノ配給ニ關スル事業ヲ行フ道府縣ヲ區域トスル商業組合又ハ商業組合聯合會、精米、精麥、製粉又ハ製麵ニ關スル事業ヲ行フ道府縣ヲ區域トスル工業組合又ハ工業組合聯合會其ノ他食糧管理法第二十八條第一項ニ掲グル事業ト同種ノ事業ヲ行フ法人ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

第四十條 地方食糧營團ガ食糧管理法第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十七條第三項ノ規定ニ依リ株式會社ノ社債ノ元利支拂義務ヲ承繼シタルトキハ其ノ債務ニ付テハ社債ニ關スル法令ヲ準用ス

前項ニ規定スルモノノ外同項ノ社債ノ元利支拂義務ノ承繼ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 第三十一條第二項及第三十二條乃至第三十八條ノ規定ハ地方食糧營團ニ付之ヲ準用ス但シ第三十一條第二項、第三十二條及第三十三條第一項並ニ第三十七條ニ於テ準用スル農地開發法施行令第三十七條第一項、第三十九條、第四十二條及第四十三條中農林大臣トアルハ地方長官トス

第四十二條 中央食糧配給事業評價委員會(以下中央委員會ト稱ス)ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ食糧管理法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメ

タル事項ヲ調査審議ス
中央委員會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

會長及委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ズ

會長ハ會務ヲ總理ス
會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

中央委員會ニ幹事及書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四十三條 地方食糧配給事業評價委員會(以下地方委員會ト稱ス)ハ地方長官ノ監督ニ屬シ食糧管理法第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

地方委員會ハ道府縣ニ之ヲ置キ當該道府縣ノ名ヲ冠ス

前條第二項乃至第七項ノ規定ハ地方委員會ニ之ヲ準用ス但シ同條第二項中二十人トアルハ十五人トシ同條第三項、第五項及第六項中農林大臣トアルハ地方長官トス

〔參照〕

昭和八年七月二十日勅令第三百二十三號ハ米穀ノ買入代價ニ對シ金利加算ニ關スル件、同十三年十二月二十四日勅令第七百八十一號ハ米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ粟及高粱ノ輸入税免除ノ件及同十六年九月十八日勅令第八百六十三號ハ昭和十六年法律第三十七號附則第二項ノ規定ニ依リ米穀統制法第二條第一項ノ最低價

格及最高價格ヲ公定スルコトヲ要セザル場合ニ關スル件ナリ

食糧管理法施行規則の公布

食糧管理法施行規則は昭和十七年六月二十七日付官報を以て左の如く公布せられた。

食糧管理法施行規則

(昭和十七年六月二十七日) 農林司法省令第二號

第一條 市農會又ハ町村農會ハ地方長官ノ指示スル所ニ依リ米麥ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者(以下地主ト稱ス)ニ對シ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受クル米麥ニ付食糧管理法第三條第一項ノ規定ニ依リ政府ニ賣渡スベキ米麥及食糧管理法施行令(以下令ト稱ス)第七條ノ規定ニ依リ賣渡スベキ米麥ノ數量ヲ定ムベシ

市農會又ハ町村農會前項ノ規定ニ依リ米麥ノ數量ヲ定メタルトキハ遲滞ナク之ヲ當該米麥ノ生産者又ハ地主ニ通知スベシ

市農會又ハ町村農會ハ地方長官ノ指示ヲ受ケ第一項ノ數量ヲ改定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

地方長官ノ指定スル市町村ニ在リテハ前三項ノ規定ニ依リ市農會又ハ町村農會ノ爲スベキ事務ハ當該市町村長之ヲ爲スモノトス

第二條 米麥ノ生産者又ハ地主ハ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米麥中前條ノ規定ニ依リ定メラレ又ハ改定セラレタル數量ニ相當スル米麥ニ付地方長官ノ指示スル期間内ニ其ノ包裝又ハ票箋ニ地方長官